

## 2017年3月期 第3四半期 連結決算ハイライト (IFRS)

### ■営業活動に係る利益は増益、四半期利益は微減

◇営業活動に係る利益 **152 億円** **10.8% 増益**  
 ◇当社株主に帰属する四半期利益 **73 億円** **△4.0% 減益**

### ■自己資本が1,000億円を超える

### 資産・負債及び純資産の状況

(単位:億円)	2016/3末	2016/12末	前期末比	
			増減	増減率
総資産	4,436	<b>4,822</b>	386	8.7%
グロス有利子負債	1,369	<b>1,341</b>	△27	△2.0%
ネット有利子負債	488	<b>637</b>	148	30.4%
自己資本 (注1)	916	<b>1,006</b>	90	9.8%
内、利益剰余金	291	<b>338</b>	47	16.1%
内、その他の資本の構成要素合計	85	<b>125</b>	40	46.7%
自己資本比率 (注2)	20.6%	<b>20.9%</b>	0.3pt上昇	-
ネットDER (注3)	0.5倍	<b>0.6倍</b>	0.1pt上昇	-

【有利子負債】  
ネット有利子負債は投資資金の増加等で148億円の増加。

【自己資本】  
自己資本(資本の「当社株主に帰属する持分」)は、利益剰余金の積上げや株価上昇等によるその他の資本の構成要素の増加により、90億円増加。

上記の結果、自己資本比率は20.9%。  
ネットDERは0.6倍。

(注1)自己資本は、資本の「当社株主に帰属する持分」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

### 損益の状況

(単位:億円)	2016/3期 第3四半期	2017/3期 第3四半期	前年同期比		2017/3期 通期 (2016年11月2日修正)	
			増減額	増減率	見通し	進捗率
売上高(日本基準)※	8,024	<b>8,003</b>	△21	△0.3%	11,500	69.6%
売上総利益	632	<b>714</b>	81	12.9%	-	-
販売費・一般管理費	△513	<b>△560</b>	△46	-	-	-
その他の収益・費用	18	<b>△2</b>	△20	-	-	-
営業活動に係る利益	137	<b>152</b>	15	10.8%	220	69.2%
利息収支	△14	<b>△14</b>	0	-	-	-
受取配当金	6	<b>8</b>	2	-	-	-
その他の金融収益・費用	△1	<b>△1</b>	△1	-	-	-
金融収益・費用	△9	<b>△7</b>	1	-	-	-
持分法による投資損益	5	<b>△5</b>	△9	-	-	-
税引前四半期利益	133	<b>140</b>	7	5.1%	200	70.1%
法人所得税費用	△43	<b>△52</b>	△9	-	-	-
四半期利益	90	<b>89</b>	△2	△1.9%	-	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益	76	<b>73</b>	△3	△4.0%	100	72.7%

【売上高】  
電子・デバイスセグメント等で増収の一方、市況低迷の影響を受けた鉄鋼・素材・プラントセグメント等での減収もあり、微減。

【営業活動に係る利益】  
電子・デバイスセグメントが牽引し、15億円の増益。

【親会社所有者に帰属する四半期利益】  
持分法による投資損益の悪化や税金費用の増加等により、3億円の減益。

### キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)	2016/3期 第3四半期	2017/3期 第3四半期
営業活動によるCF	196	<b>27</b>
投資活動によるCF	△28	<b>△142</b>
フリーキャッシュフロー	169	<b>△115</b>
財務活動によるCF	△133	<b>△63</b>
現金・現金同等物の増減	36	<b>△177</b>

【営業活動によるCF】  
営業収入の積上げ等により、27億円のキャッシュ・イン。

【投資活動によるCF】  
㈱ダイヤモンドテレコムを買収資金等により、142億円のキャッシュ・アウト。

【財務活動によるCF】  
配当金の支払等により、63億円のキャッシュ・アウト。

### 配当の状況

【2016/3期】	1株当たり <b>2.5 円</b>
中間配当	1株当たり <b>2.5 円</b>
期末配当	1株当たり <b>2.5 円</b>
年間配当	1株当たり <b>5.0 円</b>
【2017/3期】	1株当たり <b>3.0 円</b>
中間配当	1株当たり <b>3.0 円</b>
期末配当(予想)	1株当たり <b>3.0 円</b>
年間配当(予想)	1株当たり <b>6.0 円</b>

	2015/3期	2016/3期	2017/3期
連結配当性向	14.7%	22.4%	25.2%

1株当たり四半期利益(円) **18.00** **17.28** △0.72 △4.0% 23.77 72.7%

※「売上高(日本基準)」は、日本の会計慣行に従い、当連結グループが当事者として行った取引額および当連結グループが代理人として関与した取引額の合計を示しております。

### セグメント情報

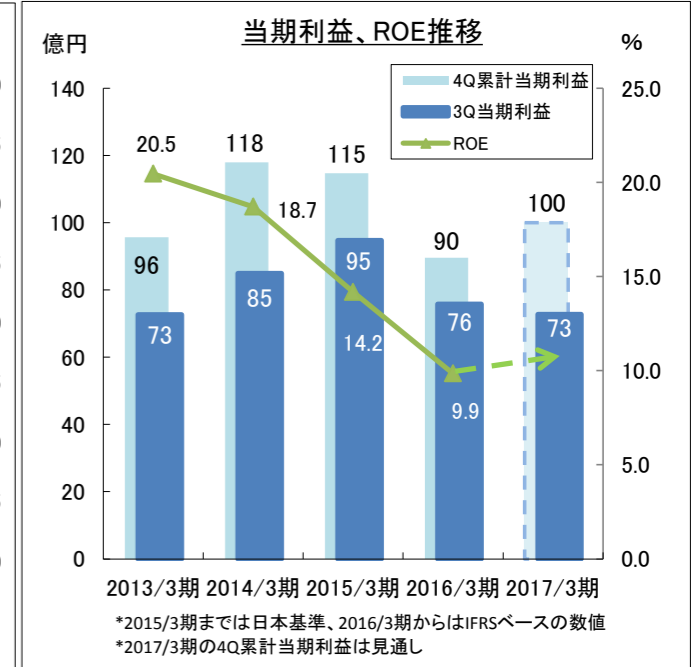
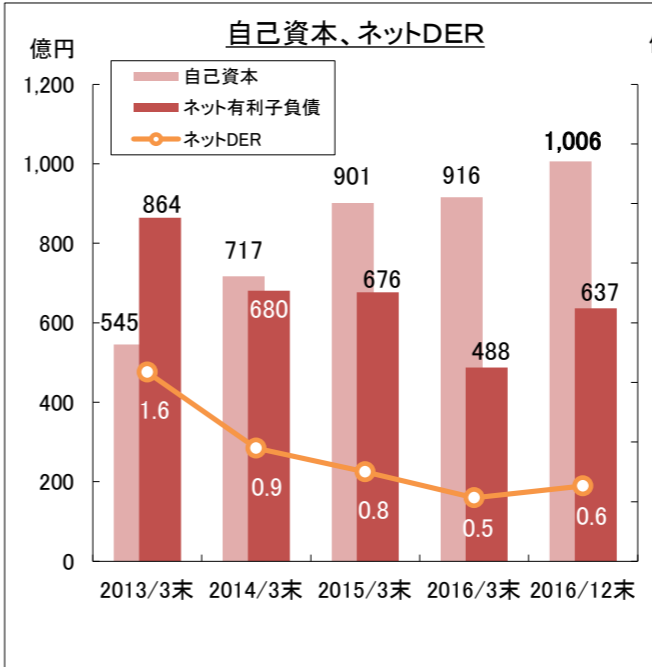
(単位:億円)	売上高(日本基準)			営業活動に係る利益		
	2016/3期 第3四半期	2017/3期 第3四半期	前年同期比 増減	2016/3期 第3四半期	2017/3期 第3四半期	前年同期比 増減
電子・デバイス	2,019	<b>2,519</b>	500	67	<b>91</b>	24
食料	2,452	<b>2,491</b>	39	14	<b>22</b>	8
鉄鋼・素材・プラント	2,893	<b>2,412</b>	△481	26	<b>12</b>	△14
車両・航空	563	<b>489</b>	△74	27	<b>19</b>	△8
報告セグメント合計	7,927	<b>7,911</b>	△16	134	<b>144</b>	10
その他(含む調整額)	97	<b>92</b>	△4	3	<b>8</b>	5
総合計	8,024	<b>8,003</b>	△21	137	<b>152</b>	15

【電子・デバイス】増収増益  
ICTソリューション事業は製造業向け取引が順調に推移。モバイル事業は堅調。半導体部品事業は苦戦。

【食料】増収増益  
食品事業は堅調に推移。畜産事業は市況の回復を受け前年度の落ち込みから回復。食糧事業は国内販売価格の下落により苦戦。

【鉄鋼・素材・プラント】減収減益  
プラント事業は工作機械・産業機械関連取引が堅調。鉄鋼事業は原油価格の低迷により主力の油井管事業が苦戦。エネルギー事業は市況の低迷により苦戦。

【車両・航空】減収減益  
車両・車載部品事業は順調に推移。航空宇宙事業は航空機部品取引が端境期のため減益。



\*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
 \*記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。